

令和 2 年度事業報告書

一般社団法人地域医療機能推進学会

令和2年度事業報告

令和2年度において、一般社団法人地域医療機能推進学会（以下、学会という。）は、設立の目的である独立行政法人地域医療機能推進機構等（以下、JCHOという。）に勤務する学会会員の資質の向上、地域医療に関する調査研究及び教育の促進を図り、もって地域医療の向上及び医学・医療の発展に寄与するための各種事業を実施した。

また、学会会員の特典として行っている福利厚生制度の充実を図るため、学会会員への利用促進を図るとともに、新たな福利厚生制度の導入を検討し実施した。

なお、令和3年3月31日時点の会員数は17,988人であった。

令和2年度に学会が実施した各種事業は、以下のとおりである。

1. JCHO地域医療総合医学会の開催

学会では、令和2年度に開催を予定し準備作業を進めてきた『第6回JCHO地域医療総合医学会』（熊本県）が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により理事会の承認を経て社員総会で開催中止が決定したことから、それまで進めてきた各種準備作業にかかる事後処理対応を行った。

併せて、令和3年度に開催が決定した『第6回JCHO地域医療総合医学会』（東京都）の各種準備を進めるとともに、新たな運営方式の検討やソーシャルディスタンスの確保に配慮した企画構成及びプログラム編成等について情報収集を行った。

2. 地域医療機能推進学会セミナーの開催

学会では、令和2年度に各職種を対象とした地域医療機能推進学会セミナーの開催を企画し、時期や実施方法等も含め準備作業を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う医療現場の状況等を踏まえて、すべての開催を中止した。

3. 福利厚生制度の実施

学会では会員特典としての各種福利厚生制度を実施しているが、今年度においても新たな福利厚生制度を追加し、一層の充実を図ってきた。

特に、会員向け情報発信ツールとして『一般社団法人地域医療機能推進学会だよりNIIJI』（季刊）を新たに刊行し、学会が実施する各種事業や会員特典、福利厚生制度の紹介やキャンペーン情報等について周知広報を行った。

また、JCHOの新規採用職員全員に入会案内とともに、各種福利厚生制度の紹介パンフレットを配布し、学会への加入促進を図るとともに学会が実施する各種事業に

ついて情報提供を行った。

さらに、令和2年度より新たに導入した「会員管理システム」により、より安全なデータ管理を行うとともに本会が実施する福利厚生制度の利用状況等を分析し、普及促進に資する資料を作成した。

4. 一般社団法人地域医療機能推進学会理事会規則第9条に定める部会の運営

JCHO地域医療総合医学会事業、研修事業及びその他の事業の企画立案・実施等の各種事業が円滑に行われることを目的として設置した、院長部会、事務部会、看護部会、薬剤部会、放射線部会、臨床検査部会、リハビリ部会、栄養部会、臨床工学部会の運営支援等を行った。

また各部会は、令和3年2月から3月の間に書面決議による部会総会を開催し、『部会会則』に定める決議事項の協議を行い本会への報告を受けた。